

# 「広島神楽」定期公演へようこそ！

公演日 12月17日

## 出演団体のご紹介

### 山王神楽団 ～さんおうかぐらだん～（山県郡北広島町）

明治中期に地元、山末神社氏神祭に神楽を奉納するため、神社周辺の人々によって「下本地神楽団」として発足した当神楽団は、昭和25年、神社に奉られている「山王観現」から名を頂き「山王神楽団」となり、現在に至ります。近年においては、ロシア・サンクトペテルブルグ建都300周年に千代田混成神楽団の一団体として参加しました。また、日韓芸術交流公演で韓国のコリアンファンタジーとともに、国立劇場にて公演させていただいたり、県外の公演にも力をそそいでおります。

練習の都度、あるいは公演の都度「演技の枠をかたむけて」を目標に、今後も芸の修得に取り組み、伝承、保存に努めてまいります。ご支援、ご指導の程、宜しくお願い申し上げます。

## 19:00～ 演目①

### 土蜘蛛 ～つちぐも～

大和(やまと)の国は葛城山に年古より住む土蜘蛛の精魂が胡蝶(こちょう)という侍女に化して、典薬の守(てんやくのかみ)の薬と偽って源頼光(みなもとのらいこう)に薬を飲ませ命を奪おうとします。しかし、頼光に正体を見破られ、宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びせられた精魂は葛城山(かつらぎざん)へ飛び去っていきました。

頼光はこの宝刀を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王に授け、土蜘蛛退治へと向かわせました。葛城山に向かった四天王は、土蜘蛛の妖術に悩まされながらも、激闘の末、土蜘蛛を見事退治するという物語です。

#### 【出演】

源頼光	—	前 翔太
卜部季武	—	芳信 智也
坂田金時	—	栗栖 隆
胡蝶	—	霜江 勇弥
鬼	—	〃
大太鼓	—	田坂 真吾
小太鼓	—	中川 克也
手打鉦	—	藤井 英昌
笛	—	川本 喜美代
	—	
	—	

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

## 20:00～ 演目②

### 八岐大蛇 ～やまたのおろち～

古事記の神話を神楽化したもので、昔、高天原を追われた須佐之男命が、出雲の国・簸の川上で嘆き悲しんでいる足名椎(翁)・手名椎(婆)の老いた夫婦と奇稲田姫(くしいなだひめ=八人目の姫)に出会い、その訳を聞き、命は大蛇退治を決意します。

足名椎・手名椎に毒酒を造らせ、やがて現れた大蛇はその酒を飲み酔い伏して眠ってしまいます。命は酔い伏した大蛇を大格闘の末退治します。

この時、大蛇の尾から出てきた一降りの剣を、命は「天叢雲剣(あめのむらくものつるぎ)」と名付け天照大御神に捧げ、めでたく奇稲田姫を妻とするという物語です。

#### 【出演】

須佐之男命	—	前 翔太
足名椎	—	藤井 英昌
手名椎	—	平田 俊文
七人目の姫	—	芳信 智也
奇稲田姫	—	〃
大 蛇	—	可能な限り
大 蛇		出して頂く
大 蛇		とのことですよ。
大 蛇		お楽しみに。
大太鼓	—	中川 克也
小太鼓	—	霜江 勇弥
手打鉦	—	是角 健二
笛	—	川本 喜美代

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。

終演後(20:45頃～)記念撮影会を実施します。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。